

神奈川県教育委員会教育長 殿

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	秦野曾屋高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	----------	------------------	---------

1 学校のミッション

全日制の課程学年制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現を可能にするため、生徒の学力を育成するとともに、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的自立をめざし、カリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、自立、自律できる人材の育成をめざし、地域の力をいかした効果的な学習の仕組みを構築し、生徒の確かな学力の育成に取り組んできた。また、生徒の希望する進路の実現に向け、自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けて教育活動の充実に取り組んできた。

今後は、平成28、29年度の2年間「逆さま歴史教育にかかる研究校」として研究開発に取り組んだ成果を地域の県立高校に様々な機会を設けて普及する。

2 学校教育目標

○人権を尊重し、豊かな感性と規範意識を備え、人と社会に貢献できる「心豊かな生徒」をはぐくむために、カリキュラム・マネジメントなどに取り組むことで豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的自立をめざす。

○自ら考え、自ら学び、自ら行動し、主体的・創造的に生きていくことができる「賢い生徒」をはぐくむために、地域の力を生かした学習などに取り組むことで生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現や、自立、自律できる人材の育成をめざす。

○個性を生かし、将来の夢に向かって粘り強くチャレンジし続ける「たくましい生徒」をはぐくむために、不断の授業改善などに取り組むことでこれからの時代に求められる資質・能力の育成をめざす。

3 計画策定時点での課題

○研究成果を地域へ普及させる方法の確立やICT機器等を活用した授業改善をさらに推進していく必要がある。

○規範意識全体を高め、自分と他者を認め思いやる心の育成をさらに推進する必要がある。

○学校行事の満足度は高いが、一部に企画改善を要するものがある。また、部活動入部率が低下傾向にあり、本校で何かに打ち込めるようさらに手立てを講じる必要がある。

○「行ける」ところから「行きたい」ところへの進路指導を充実させる必要がある。

○地域住民や中学生などが魅力を感じる学校づくりをすすめ、その内容を発信し曾屋高の魅力を知らう必要がある。

○コミュニティ・スクールとして、地域や保護者等との連携を視野に入れた学校行事や防災訓練・教育などをさらに推進する必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ①研究開発に取り組んだ成果を地域の高校へ普及する。 ②学力の充実を目指し、バランスの取れた教育課程を編成する。 ③英語教育の推進により、生徒の英語力の向上を図る。 ④主体的に学ぶ意欲を高め、探究活動を充実させる授業改善に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ①逆さま歴史教育にかかる研究成果を地域に発信する。 ②カリキュラム・マネジメントの視点から教育課程を編成する。 ③英語科目の単位数増、外部検定試験の全員受験等英語力向上のための諸活動を推進する。 ④授業改善に向けた取組を推進するとともに、ICT機器の積極的な活用を推進する。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ①礼節を重んじ規範意識を高める。 ②教育相談体制を充実させ、生徒一人ひとりに対しきめ細かな支援を行う。 ③生徒会、委員会活動、部活動を通して責任感や連帯感の涵養を図り、自己肯定感を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域あいさつ広報運動・生活指導週間等の機会を通してあいさつを励行する。 ②スクールカウンセラーや教育相談コーディネーターの連絡体制を密にし支援体制を充実する。 ③生徒の主体的運営を推進し、生徒同士の能力を高めあう機会を設ける。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ①キャリア教育を充実させ、社会でより良く生きるための諸能力を育成する。 ②「行きたい」上級学校への進路実現のため、進路ガイダンスの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①キャリア教育実践プログラムを改善し、その効果を検証する。 ②実力テスト等の成果を活用し、生徒への効果的な学習指導を充実させる。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ①コミュニティ・スクールとして地域に開かれ、地域とともにある学校づくりを目指す。 ②ボランティア・バンクの充実を図り、地域と連携した活動を推進する。 ③地域のソーシャル・キャピタルを積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校運営協議会での熟議による学校づくりを推進する。 ①学校行事やイベント等の魅力を高め、情報の発信に努める。 ②一人一ボランティアの達成を目指す。 ③学校行事や防災等で地域住民や保護者との連携を深める。 ③曾屋塾の取組及び福祉体験講座を活性化する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ①防災体制を確立するとともに、生徒の防災意識を高める。 ②学校内の教育環境をより一層整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①DIG等の防災教育を取り入れ、生徒の自発的な防災への取組を深化させる。 ②美化委員が自ら考え取り組む態度を育てる。 ②PTA活動を中心に保護者と連携して整備を進める。